

青少年期の悩みへ 相談窓口を開設 4/15(土)～



区では、さまざまな悩みを抱える青少年に、早期に支援の手を差し伸べることにより、ひきこもり等を未然に防ぎ、自立・社会参加への手助けをするため、区役所と青少年交流プラザに相談窓口を開設します。

ひきこもりや不登校、人間関係など、あらゆる悩みに対応

▲明るい未来へ向かって、笑顔で歩めるよう、手を差しのべます

地球温暖化防止設備に助成金の活用を新たに次世代自動車と蓄電池を追加

区では、個人住宅・集合住宅および事業所を対象に、地球温暖化の防止に貢献するCO₂削減効果の大きい、創エネ・省エネ設備の設置について、経費の一部を助成しています。今年度から、次世代自動車(電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車)と蓄電池を、助成対象に追加しました。対象設備・助成額は、下表のとおりです。省エネ機器等の助成金申請は必ず工事着工前に行ってください※着工後の申請は受付できませんのでご注意ください(次世代自動車のみ事後申請)。また、助成要件・助成金額、申請に必要な書類等の詳細は、区ホームページをご覧ください。☎ 温暖化対策課環境調整係 ☎3647-6124、FAX5617-5737



▲充電中の電気自動車(区役所駐車場)

対象設備および助成金額一覧表(☆新規)

助成対象設備	助成金額 ()内は上限額	
	住宅用	事業所用
太陽光発電システム	太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値1kwあたり5万円(20万円まで。集合住宅は150万円まで)	太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値1kwあたり5万円(20万円まで)
エコキュート	(1設備あたり4万円まで)	(1設備あたり8万円まで)
エネファーム	(1設備あたり10万円まで)	(1設備あたり20万円まで)
エネルギー管理システム機器(HEMS・MEMS)	(1設備あたり2万円まで 集合住宅は15万円まで)	(1設備あたり4万円まで)
☆蓄電池	(1設備あたり10万円まで 集合住宅は50万円まで)	(1設備あたり10万円まで)
高反射率塗装	施工面積1㎡あたり1,000円を乗じた額(20万円まで。集合住宅は150万円まで)	施工面積1㎡あたり1,000円を乗じた額(20万円まで)
☆次世代自動車(◎)	一律10万円。個人での申請のみ可	-

◎電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車

青少年期の幅広い悩みに対応
 区は、これまでひきこもり等で悩む方を対象に相談等を行ってききました。4月からは相談できる対象を拡大し、ひきこもりをはじめ不登校や友人・異性・家庭内の問題等、青少年期における幅広い悩みに対応します。相談を受けるにあたっては専用の相談室を設け、安心して話ができる環境を整えています。

まずは勇気を出して相談を
 相談は、本人だけでなく、保護者や関係者の方でもできます。家庭や学校以外で悩みを相談できる場所がほしい
 ○ 他人とうまくコミュニケーションをとれるようになりたい

○ 活動の場所や人と話す機会を増やしたい
 ○ 悩みを抱えていることもどう接したら良いかわからない
 ○ こどものことで悩んでいる近所の人に、自分に何ができるか知りたい
 など、どんなことでも構いません。まずは勇気を出してご相談ください。専門知識と経験を有する相談員が個別面談または電話相談を行い、助言や情報提供、専門機関の紹介などをします。
 ※ 青少年交流プラザでは、当事者の居場所運営も行います。

時間 下表のとおり
人 区内在住・在学・在勤のおおむね15歳～40歳未満の方およびその保護者等。1回の開催で3人程度 **費用** 無料

会場	日時
区役所青少年相談ブース(4階23番)	4/19以降の毎週水・木曜(祝日の場合は翌日) 13:00～17:00
青少年交流プラザ(亀戸7-41-16)	4/15以降の毎週土曜 13:00～17:00

※5/19(金)13:30～16:30に豊洲文化センター(豊洲2-2-18)で出張相談会を行います(このほか平成30年3月までに5回、出張相談会を実施。詳細は後日、区報等でお知らせします)。

☎ 080(9434)6949
 ☎ 3647(3647)9813
 FAX (3647)8474

☎ 青少年課青少年係
 ☎ 3647(3647)8474

☎ 相談員 NPO 法人 青少年自立援助センター相談員
 ☎ 面談は各開催日の前日(日曜、祝日を除く)までに、電話相談は開催日の当日に相談専用ダイヤル